

## スポーツイベント終了後 「負の遺産」にしないために

だけがかかる「負の遺産」になるリ ために建設されたスタジアムやアリ そこで課題となるのが、大会開催の ベントの招致が行われる見込みだ。 れた。今後もさまざまなスポーツイ スポーツイベントが相次いで開催さ 稼働率が大幅に下がり、維持管理費 ーナだ。というのも、大会終了後に 近年、日本で国際的かつ大規模な

> 慮する余裕はないでしょう。これは ジュールで進めなければなりません。 通課題です」と指摘する。 日本国内のみならず、世界各国の共 大会終了後の活用方法まで綿密に考 ーツイベントの場合、短期間のスケ 行役員の髙柳隆氏は「国際的なスポ スクも存在するからだ。 横河システム建築 取締役 常務執

要だ。さまざまな用途に対応できれ ーナの稼働率を向上させることが必 課題解決には、スタジアムやアリ

マスが欠かせない。摩耗や劣化した部 交換、電子部品の寿命に合わせた機 新を行うことで、突然の故障などを

ところはどうなのだろうか。 タジアムは運転費用がかさむといっ た指摘をされることがある。実際の 一方で、開閉式の屋根を備えたス

実際、神戸市にある「ノエビアス

サートイベントにおいて、降雨は悩 の屋根を後付けで建設することも可 の屋根を備えたものもある。可動式 最近のスタジアムの中には、開閉式 みの種だ。イベントの開始が遅れた 順延、中止になることもある。 収益の機会も増す。例えばコン

差しから芝を守ったり、冬の低温や ができるからです」(髙柳氏) などにも役立ちます。夏場の強い日 霜、雪などから保護したりすること ことに加え、天然芝ピッチの養牛 「開閉屋根は天候に左右されない

可欠です。これを怠ると故障などに 根にも定期的なメンテナンスが不 費用という点では、屋根1往復の電 なってしまいます」と髙柳氏は説明 つながり、後々大きな出費が必要に 自動車やマンション同様に、開閉屋 決して高額ではありません。ただし、 気料金は数千円から数万円程度で、 「それは誤解です。開閉のための

開閉屋根のメン

できているという。電子部品の寿命 や劣化状態を的確に判断することが テナンスを行うことで、機器の摩耗 タジアム神戸」では、定期的なメン

いる事例もあるそうだ。 先進的な取り組みを行い、 とはいえ、行政の施設であっても 成功して



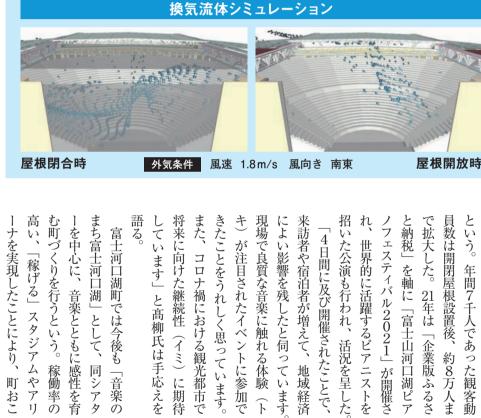
## 活用し収益向上に成功 行政の施設でも開閉屋根を

美しい眺望を望む。 1995年に開館した。 「河口湖ステラシアター」は、 Ш 「梨県富士河口湖町の野外音楽 バックステージに富士山の 周囲の景観と調 河口湖畔に

> されるからだ。 客席空間も特徴的だが、音楽コンサ 和した美しいデザイン、 った。公演開催の可否が天候に左右 トやイベントの招致は楽ではなか すり鉢状の

開閉屋根を設置しました。施工は当 外音楽堂のコンセプトを残しつつ、 解決策として2007年に、 野

社が手がけました」と髙柳氏は紹介



開閉屋根を開放することで数分で施設内の換気が可能。

ントでは徹底した感染症対策が求められる。「ウィズコロナ」「アフタ の時代において、開閉屋根の重要性は高まっている

> 野外音楽堂に、 招いた公演も行われ、活況を呈した。 と納税」を軸に「富士山河口湖ピア という。年間7千人であった観客動 加するばかりか、空調管理にシビア れ変わったのだ。さまざまなイベン 応可能な全天候型シアターへと生ま 放すれば富士山と雄大な自然を望む する。その結果、 ノフェスティバル2021」が開催さ で拡大した。21年は「企業版ふるさ 員数は開閉屋根設置後、 な管弦楽も開催できるようになった ト招致が可能となり、開催回数が増 て屋内空間にと、あらゆる天候に対 -4日間に及び開催されたことで、 世界的に活躍するピアニストを 雨天時は屋根を閉じ 晴天時は屋根を開 約8万人ま

観客を入れるイベ

む町づくりを行うという。 まち富士河口湖」として、 ーを中心に、音楽とともに感性を育 ナを実現したことにより、 富士河口湖町では今後も「音楽の 「稼げる」スタジアムやアリ 稼働率の 同シアタ 町おこ

> 性や規模拡大が見込まれている点も 年度や単発での実施ではなく、 しにつながった好例といえよう。 単

やお客様へも大きな安心感を実現し 外気を取り入れられる構造かつ、可 ミュレーション (上図) で開催が中止になったり、 ています」(髙柳氏 れ替えも可能なことから、主催者側 動屋根の開放により数分で空気の入 かりのように、建物の周囲がつねに ステラシアターでは、「換気流体シ なった。そのような状況でも河口湖 アリーナを利用したイベントの多く またコロナ禍では、 スタジアムや からもおわ 無観客と

## の移行で差別化が重要に 民間資本による建設・運営へ

だろう。 ロスポーツチームが自前でスタジア られている。また、資金力のあるプ ョン方式などの民営化も進むと考え することが多かったが、コンセッシ 共団体が公共施設として建設・運営 は語る。国内ではこれまで、地方公 建設や運営への移行です」と髙柳氏 背景の1つが民間資本による施設の すます進化することが求められます ムやアリ スタジアムやアリーナは今後ま ナを建設するようになる

興味深い動きもある。 21年秋、 欧

いる。 イベントに対応できるようになって や観客席が移動し、 資金を投じてスタジアムを大改修す でなく るというニュースが流れた。 その機能だ。開閉屋根だけ 天然芝のピッチそのもの 多様なスポーツ 注目す

> このようなスタジアムが珍しくなく ることができる近未来型のスタジア なるでしょう」 ムです。非常に斬新ですが、 あらゆる設備を柔軟に移動させ (高柳氏 今後は

州の有名サッカークラブが、

多額の

納式マルチフロアや可動スタンドを さらに、「当社もすでに昇降・ スタジアムやアリーナの多

用途に合わせてスタジアムやコートを変幻自在にアレンジ コンサート・イベント会場 大規模なサッカー場 ラグビー場天然芝ピッチ バスケットコート バレーボールコート 用途に応じフロアやスタンドを可動 テニスコート フットサルコート

スタジアム・アリーナの多目的利用を想定した昇降・格納式マルチフロアや可動スタンド。イベントの種類や規模に応じて、 簡単な操作、短時間で場面転換が可能となり、施設の稼働率を大幅に向上させる

では、 その瞬間にしか体験できない「トキ」 収益性の向上、 の共有やその消費によりもたらされ になるだろう。 のあり方が問われ、 イットセンターへ」として、 スタジアム・アリーナ改革指針 の転換が重要であると指摘してい 昨今は「モノ」 折しも、 稼働率と収益性を考慮した施設 「コストセンターからプロフ や コト から、

する。 という。 幅に広がり稼働率向上にもつながる システムがあれば、施設の用途が大 ボールなどの木床、クレーや人工芝 ピッチやバスケットボールやバレー 簡単に場面転換が可能となる。この イド・昇降させて入れ替えることで イベントに合わせて必要な床をスラ フロアの品目や規模はまちまちだ。 ンクリート土間など、用途によって のテニスコート、コンサート用のコ 目的利用を推進しています」と紹介 サッカーやラグビーの天然学

と自信を見せる。 界をリードする可能性もあります。 ム・アリーナの建設・運営技術が世 なスタジアムの建設・運営も可能で メーカーの技術力を集めれば、 したサッカークラブのような先進的 「このほか、 その点では、日本発のスタジア 現時点でも、 日 前述 本の

スポーツ庁が発表した すなわち稼げる施設 追求されること 施設の

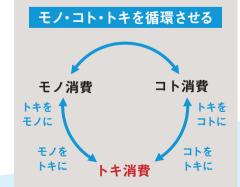
> えた施設が欠かせないものとなって まな可動装置を備 いくだろう。

パートとして技術研鑽に努めていき るように、今後も可動建築のエキス れないだけでなく、 のような施設が広がることに大いに 力を込める。これから日本各地にそ たいと考えています」と、 「当社はそのような時代に乗り遅 むしろ牽引でき 髙柳氏は

期待したい。

の実現にはさまざ できる U X デザイ にない体験を享受 うになってきてい が見いだされるよ ンが求められ、 スタジアム・アリ る。そして今後の る「イミ」に価値 ナにもこれまで 7





富士山河口湖ピアノフェスティバル2021のボランティア スタッフたち。その瞬間でしか得られない体験を共有す る空間づくりが、施設の魅力をさらに高めていく